

- 問1 鎌倉時代初期の武士社会において、親の領地を複数の子に分けて継承させる相続方法を何といいますか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 単独相続
 2. 分割相続
 3. 永代売買
 4. 地頭請
- 問2 11世紀末から約200年にわたって断続的に行われた十字軍の遠征が、中世ヨーロッパの社会や文化に与えた影響や背景についての説明として正しいものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 遠征が軍事的に完全な成功を収めたことで、ローマ教皇の権威はそれ以降さらに強固なものとなった。
 2. 遠征によって地中海貿易が衰退したため、ヨーロッパ諸国の国王は新しい航路を求めて大航海時代を開始した。
 3. 遠征を通じてイスラム世界の高度な学問や技術が伝わり、のちのルネサンスへとつながる文化交流のきっかけとなった。
 4. イスラム勢力の中心地であるメデynaを占領し、キリスト教の領土を西アジア全域に広げることに成功した。
- 問3 1297年に鎌倉幕府が発令した「永仁の徳政令」について、この法令が出された背景とその内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 元寇による軍役負担で困窮した御家人を救うため、質入れ・売却した土地の無償返還などを命じた。
 2. 北条氏による執権政治を強化するため、御家人たちが独自の裁判を行うことを禁止した。
 3. 全国の公家や寺社に対して、幕府への忠誠を誓わせる代わりに土地の所有権を認めた。
 4. キリスト教の布教を制限し、幕府が貿易を独占することで財政を立て直そうとした。
- 問4 鎌倉幕府を支えた「御恩と奉公」の仕組みにおいて、御家人が将軍に対して果たすべき義務である「奉公」の具体的な内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 平時に京都や鎌倉の警備を担当し、戦時には軍勢として合戦に参加すること
 2. 執権として将軍を補佐し、幕府の政治や裁判の実務を代行すること
 3. 幕府の役職である管領に就任し、将軍の跡継ぎ問題を調整すること
 4. 自分の所有する土地をすべて将軍に寄進し、小作人として耕作に励むこと
- 問5 鎌倉時代には、みそなどの原料となる大豆の生産が盛んになりましたが、この背景にある当時の農業の様子について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 千歯こきや備中ぐわといった効率的な農具が全国に普及したことで、加工食品の原料となる作物の栽培が容易になった。
 2. 『農業全書』などの農学書が各地の農村で広く読まれるようになり、高度な施肥技術が一般の農民に定着した。
 3. 鉄の刃をつけた農具が初めて使われるようになり、それまで困難だった大規模な水田開発が全国で一斉に始まった。
 4. 牛馬による耕作が普及し、米の収穫が終わった後の田で麦などを栽培する二毛作が西日本から広まった。
- 問6 鎌倉時代に成立した新仏教のうち、一遍が開いた時宗が当時の社会に受け入れられ、急速に広まった理由として最も適切な説明を次の中から選んでください。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 念仏の札を配ったり、踊りを取り入れたりすることで、文字の読めない庶民層にも分かりやすく教えを説いたため。
 2. 加持祈祷によって現世利益を約束し、貴族や皇族の病氣平癒を主な目的としたため。
 3. 山に籠もって悟りを開くことを説き、俗世との関わりを断つことを強調したため。
 4. 幕府の保護を背景に、有力な武士階級のみを対象とした厳しい修行を重視したため。
- 問7 13世紀に世界各地に大きな影響を与えたモンゴル帝国の支配領域に関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. アメリカ大陸から大西洋を越え、ヨーロッパの沿岸部までを勢力圏とした。
 2. 東アジアから中央アジアを経て、ヨーロッパ東部に至るまでを支配下に置いた。
 3. 地中海を囲む全域を支配し、ヨーロッパから西アジア、北アフリカまでを領土とした。
 4. インドから東南アジアの諸島部に掛けて、海上交易路を独占する海洋帝国を築いた。
- 問8 鎌倉幕府が滅亡に至るまでの背景と経緯について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 足利義満が日明貿易を独占したことに反発した有力な御家人たちが、後醍醐天皇を担ぎ出して1333年に鎌倉幕府を滅ぼした。
 2. 北条時頼が建長寺を建立して禅宗を広めたことにより、仏教勢力との対立が激化し、足利尊氏が天皇の命令を受けて幕府を滅ぼした。
 3. 元軍の襲来（元寇）の際に十分な恩賞を与えられなかったことで御家人が困窮し、幕府への不満を強めた後醍醐天皇や足利尊氏らによって倒された。
 4. 承久の乱において朝廷軍が勝利し、その勢いに乗った新田義貞や足利尊氏が鎌倉の北条氏を滅ぼした。
- 問9 奈良時代に聖武天皇が全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 坂上田村麻呂による東北遠征の成功を祈願し、軍事的な拠点としての役割を担わせるため。
 2. 壬申の乱で荒廃した地方都市を再建し、律令国家としての徴税体制を強化するため。
 3. 琵琶法師などの芸能者に仏教の教義を学ばせ、新しい武家文化を全国に布教させるため。
 4. 度重なる疫病や社会の不安を、仏教の力によって鎮め、国家の安寧を図ろうとしたため。
- 問10 1185年に平氏を滅ぼしたのち、鎌倉を拠点として日本初となる本格的な武家政治の仕組みを整えた人物は誰ですか。1192年に朝廷から征夷大将軍に任命された人物を答えなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 足利尊氏
 2. 平清盛
 3. 徳川家康
 4. 源頼朝
- 問11 源頼朝が征夷大将軍に任じられ、武士による政治が確立された鎌倉時代において、禅宗が武士の精神的支えとして広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで誰でも極楽浄土へ行けるという平易な教えが、学問の機会が少なかった地方武士に歓迎されたから。
 2. 法華經こそが正しい教えであると説き、幕府に対して強い忠誠心を持つよう指導したことが、支配体制の安定に寄与したから。
 3. 加持祈祷によって現世での利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の権威を象徴するものとして利用されたから。
 4. 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。
- 問12 将軍と御家人の主従関係を示す状況として、将軍が御家人のももとの領地の支配を認めたり、手柄に応じて新たな領地を与えたりする行為を指す言葉として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 幕府から直接支払われる「給与」
 2. 軍役や番役を務める「奉公」
 3. 朝廷から授けられる「官位」
 4. 本領安堵や新恩給与などの「御恩」